

用語解説

* 42条2項道路：幅員が4m未満でも、特定行政庁の指定で「建築基準法上の道路」として扱っている道。この道路に接した敷地に新たな建物を建築する際には、道路の中心線から水平距離で2mまで敷地を後退させなければならない。

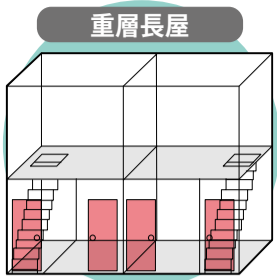
* 42条3項道路：42条2項道路と同様、特定行政庁の指定で道路として扱われている道。土地の状況により42条2項で定められた2mの後退が困難な場合に、特定行政庁が後退距離を1.35m以上2m未満の範囲で指定できる。

* 重層長屋：共有の廊下や階段等がなく、全戸1階に玄関があり、各戸の専用階段で上階に上がることのできる縦に連なる長屋。

普通徴収者を対象とする介護保険料滞納者への過酷なペナルティ改善の立場に立ち、関係機関に働きかけるべきかどうか。
② 補正給付削減中止を求めることこそ区民の福祉や健康を守る自治体のあるべき姿ではないか。
③ 区独自の利用負担軽減を実施すべきかどうか。

【福祉】① 国等へ要望はしない。
② 中止を国に求める考えはない。
③ 低所得者の介護保険サービスの利用状況及び他区の動きを注視し、検討していく。

【問】① 地区防災計画策定では、まず密集地域で具体的年次計画を持ち取り組むべきかどうか。
② 42条2項道路を42条3項道路に変える等、地域の良さや特色を生かした災害に強いまちづくりを進めるべきかどうか。
③ 重層長屋は条例の改正等で規制すべきではないか。



【危機管理】① 全町会・自治会に普及させたい考えである。年次計画を検討し、次期地域防災計画に記載していくが、平成29年度は10地区の策定を目指す。

【市街地】② ご提案の地域の実情にあわせた方策を選択していくことが重要と考えている。減災対策を着実に推進し、災害に強いまちづくりを進めていく。

【建築】③ 平成29年1月末を目

途に、環境整備基準を見直し、その後、指導を強化していく。平成29年度中に新たな条例の制定を視野に検討を進めていく。
千住二丁目市街地再開発では
【問】 公益施設を優先的に住民が使えるよう区が協定を結ぶことが必要である。さらなる公共の福祉に供するよう強く主張していくべきかどうか。住民

足立区議会議民進党

子ども医療費、子育て住宅

職業紹介、無電柱化を質問

民進党 米山 やすし 議員



子どもの医療費無料化を拡大

【問】 当区で、高校3年生まで食事代を除いて、① 通院・入院ともに拡大した場合、② 入院のみを拡大した場合、1年間どの程度の予算増となるのか。

【福祉】 試算では、① 5億9千万円、② 3千3百万円の予算増が必要になると見込んでいる。空き部屋が目立つ区営住宅の活用を提案！

【問】 区営住宅全535戸のうち一定の割合を子育て住宅として活用し、子育て世帯や若年夫婦世帯向けの期限付き住宅として提供してはどうか。

【建築】 現在、児童虐待等さまざまな理由により親の養育を受けられず、深刻な課題を抱える児童養護施設等の退所者を対象に、中央本町四丁目アパートへ優先的に一時入居が可能となるよう、区営住宅条例の改正に向け、準備を進めている。

今後、子育て世代や若年夫婦

の願いが通らない場合には、税金の投入をやめる等の強い姿勢で対応すべきかどうか。
【都市建設】 地域への貢献度や先導性の高い事業となるよう指導していく。多目的室の利用は、地域と組合とで協定を結ぶよう働きかけており、回答を待っている。補助金も事業内容や進捗等、照査し適切に支出していく。

【問】 就職困難者や生活保護受給者を対象とする無料職業紹介事業を区が開始する意義は大きい。特に、くらしと仕事の相談センターの就労準備支援事業(ジョブリハアдачи)において、独自の求人情報を用いた職業紹介を行うことは有益と考えるが、区の見解を問う。

【福祉】 就職困難者の中には、

コミュニケーション能力が乏しい、働ける時間帯が限られる、長時間の就労が難しい等、一人ひとりが様々な状況を抱えており、幅広く多様な職業を紹介していく必要があると考えている。そのためには、ハローワークとの連携に加え、就労準備支援事業における無料職業紹介許可を有する事業者の活用も有効と考えられるため、積極的に検討していく。

無電柱化の取り組みに工夫を

【問】 歴史的背景の保全、観光の促進、バリアフリーの観点から、西新井大師参道や千住の旧道等の歴史的な地域についての無電柱化に取り組むことは重要と考える。区の「推進計画」上の検討箇所として位置づけ、都との協議の上進めるべきと思うが、区の見解を問う。

【都市建設】 景観の保全やバリアフリーの観点からも大変重要であると認識している。歩道の無い道路への無電柱化を進めていくため、現在、交通広場整備を進めている五反野駅周辺の道路をモデル路線として検討を進める。これにより得た知見を活かして、さらに対象道路を増やしていきたいと考えている。

【問】 避難所に入りきれずに、自家用車で寝泊りする避難者の滞在場所や台数の予測等、地域防災計画への明記を含めて対策を急ぐべきと思うがどうか。

【問】 区内避難所のうち、マンホールトイレの敷地内整備箇所数と敷地外整備箇所数はいくつか。敷地内に確保すべきであり、早急に対策を取るべきかどうか。

【問】 中川公園を中心とする地域の「賑わい・活性化」が、地下鉄8号線整備推進計画を進める上で重要な位置づけとなるが、関連をどのように考えているか。

【問】 中川公園を賑わい、周辺の居住者が増えることにより、地下鉄8号線を促進する材料になることは考えられる。このため、公園整備計画の早期策定と工事着手を都へ要望していく。

無党派会派

子どもへの安全対策と危機管理および心の教育を問う

無党派 松丸 まこと 議員



児童館の危機管理に大きな疑問

【問】 児童館で中学生から小学生が暴行を受け、事務所で手当を行った。その後小学生は自ら内科に行き、事実を知った母親が児童館へ連絡をすると「役所の指示に従う。二日後ぐらいに連絡する。」との回答だった。小学生は翌朝も嘔吐をしたので学校を休んで外科で診察を受けた。母親へ電話をして事件を知った小学校長は、すみやかに中学校長に連絡をして、小・中学校の連携が始まり、家族間で和解決した。

① 状況によっては、救急隊や警察へ連絡をするべきだと考えるが、区の見解を問う。
② 児童館で急病や事故等が起きた場合の「危機管理マニュアル」はあるのか問う。
③ ある場合は、今回の事例でなぜ機能していなかったのか問う。

【地域】 ① このような事例が発生してしまつたことを心からお詫び申し上げる。改めて決められた通りの事故対応の徹底を全児童館に指示した。

② 「区児童館マニュアル」の中に「危機管理」の項目を設け、事故やけがの対応等定めており、その内容にそつた研修も行って

③ 危機管理意識の欠如、事例発生直後、連絡を受けた課の指示

の不徹底にある。特に事故等の対応は、消防署より緊急対応の資料を取り寄せ、さらにきめ細かい対応を取るよう改める。
未来を信じて希望を実現
【問】 ① 区に縁のある「坂本龍馬と千葉さなの純粋で切ない愛」をテーマとした、演目を公演し、子どもたちや区民に「心の憩いと心の教育」として、文化芸術振興を継続してもらえれば「区民にとつて誇りや自信」になると考えるが、見解を問う。
② ワークショップ等に講師を無償で派遣している劇団もある。今後、本事業の活用を進めるべきと思うが見解を問う。

